

令和2年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積

－ 大豆の作付面積は前年産に比べ1%減少 －

【調査結果の概要】

- 1 大豆
大豆の作付面積は14万1,700haで、前年産に比べ1,800ha（1%）減少した。
- 2 小豆
小豆の作付面積は2万6,600haで、前年産に比べ1,100ha（4%）増加した。
- 3 いんげん
いんげんの作付面積は7,370haで、前年産に比べ510ha（7%）増加した。
- 4 らっかせい
らっかせいの作付面積は6,220haで、前年産に比べ110ha（2%）減少した。

表 令和2年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積

区 分	計			田			畑		
	作 付 面積	前年産との比較		作 付 面積	前年産との比較		作 付 面積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
大 豆	141,700	△ 1,800	99	114,200	△ 1,800	98	27,500	△ 100	100
小 豆	26,600	1,100	104	3,690	160	105	22,900	900	104
い ん げ ん	7,370	510	107	321	16	105	7,050	490	107
ら っ か せ い	6,220	△ 110	98	125	△ 1	99	6,090	△ 120	98

○ 令和2年産については、大豆は全国、小豆、いんげん及びらっかせいは主産県を調査の対象としている。このため、小豆、いんげん及びらっかせいの主産県以外については、直近の全国調査年（平成30年産）の調査結果に基づき推計して、全国値を算出している。

なお、主産県とは、直近の全国調査年（平成30年産）における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県に、畑作物共済事業を実施する都道府県を加えた都道府県である。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/index.html#y6> 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 関税割当数量の算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

1 大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積の推移（全国）

単位：ha

区 分	大 豆			小 豆		
	計	田	畑	計	田	畑
平成23年産	136,700	117,200	19,500	30,600	5,760	24,900
24	131,100	111,500	19,600	30,700	5,290	25,500
25	128,800	108,900	19,900	32,300	5,140	27,200
26	131,600	110,800	20,800	32,000	4,800	27,200
27	142,000	117,700	24,300	27,300	4,040	23,300
28	150,000	120,300	29,800	21,300	3,350	17,900
29	150,200	120,800	29,400	22,700	3,240	19,400
30	146,600	118,400	28,300	23,700	3,430	20,300
令和元	143,500	116,000	27,600	25,500	3,530	22,000
2（概数）	141,700	114,200	27,500	26,600	3,690	22,900

単位：ha

区 分	いんげん			らっかせい		
	計	田	畑	計	田	畑
平成23年産	10,200	423	9,760	7,440	170	7,270
24	9,650	404	9,250	7,180	142	7,040
25	9,120	365	8,760	6,970	140	6,830
26	9,260	301	8,960	6,840	140	6,700
27	10,200	330	9,910	6,700	138	6,560
28	8,560	292	8,270	6,550	132	6,420
29	7,150	318	6,840	6,420	133	6,280
30	7,350	308	7,040	6,370	133	6,240
令和元	6,860	305	6,560	6,330	126	6,210
2（概数）	7,370	321	7,050	6,220	125	6,090

資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』（以下2まで同じ。）

2 大豆、小豆及びいんげん（乾燥子実）の作付面積の推移（北海道）

単位：ha

区 分	大 豆	小 豆	いんげん	らっかせい	
				金 時	手 亡
平成28年産	40,200	16,200	7,940	6,170	1,200
29	41,000	17,900	6,630	5,070	1,060
30	40,100	19,100	6,790	5,140	1,210
令和元	39,100	20,900	6,340	4,590	1,360
2（概数）	38,900	22,100	6,880	4,780	1,790

【調査結果】

1 大豆（乾燥子実）の作付面積

大豆の作付面積は14万1,700haで、前年産に比べ1,800ha（1%）減少した。

これは、主に他作物への転換や高齢化による労力不足に伴う作付中止等があったためである。

図1 大豆の作付面積の推移（全国）

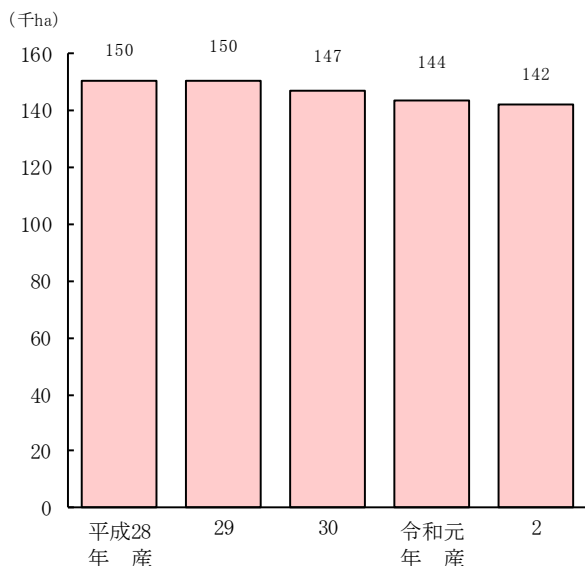
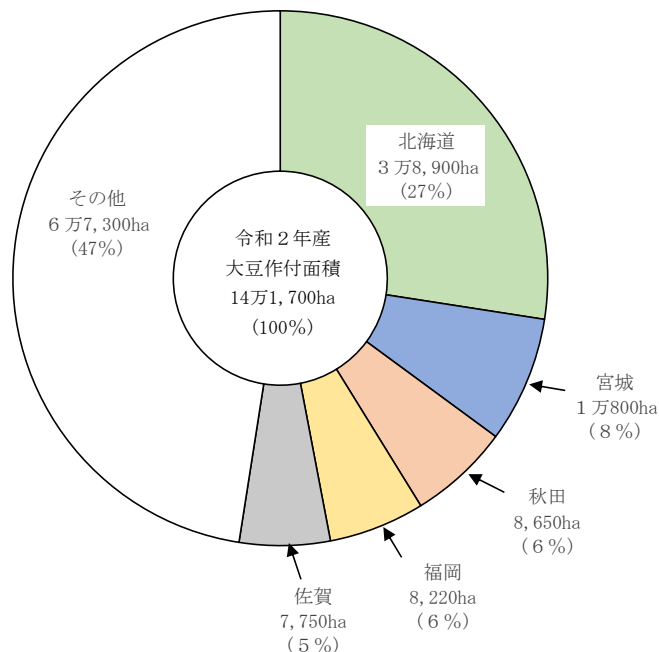


図2 大豆の都道府県別作付面積及び割合（全国）



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。（以下、図8まで同じ。）

2 小豆（乾燥子実）の作付面積

小豆の作付面積は2万6,600haで、前年産に比べ1,100ha（4%）増加した。

主産地である北海道の作付面積は2万2,100ha（全国の約8割）で、主に他作物からの転換等により、前年産に比べ1,200ha（6%）増加した。

図3 小豆の作付面積の推移（全国）

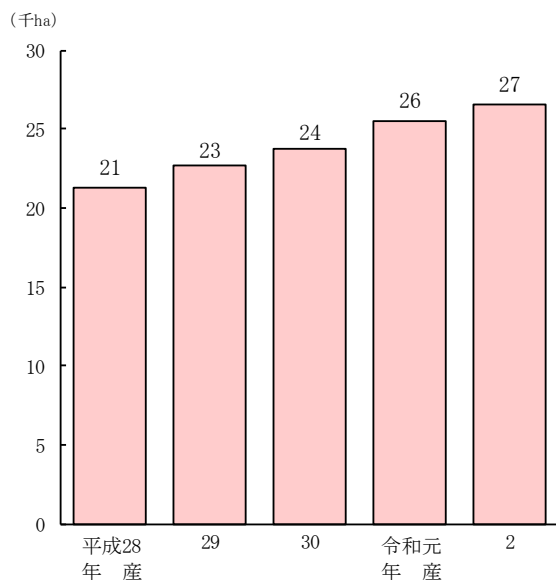
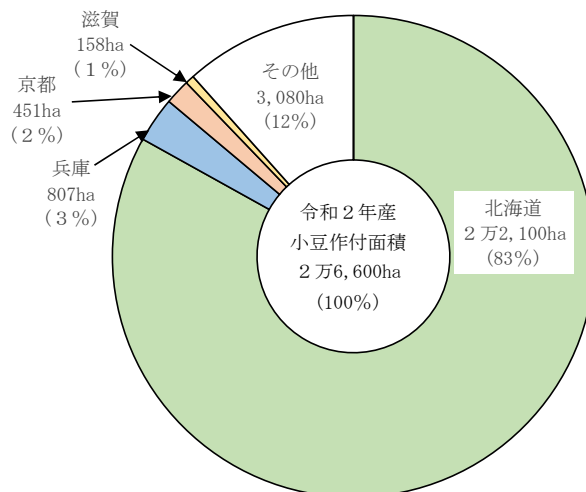


図4 小豆の都道府県別作付面積及び割合（全国）



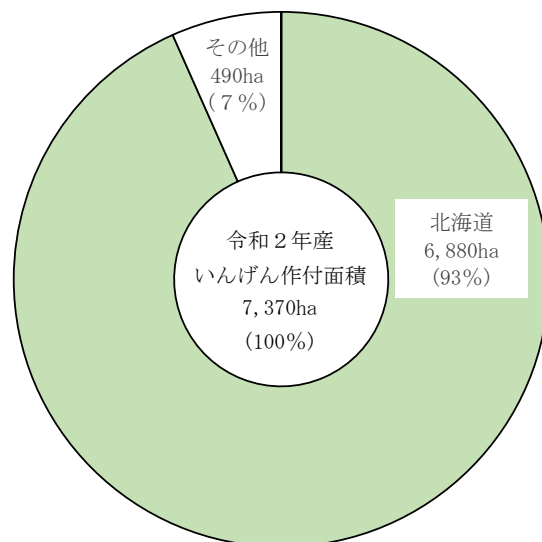
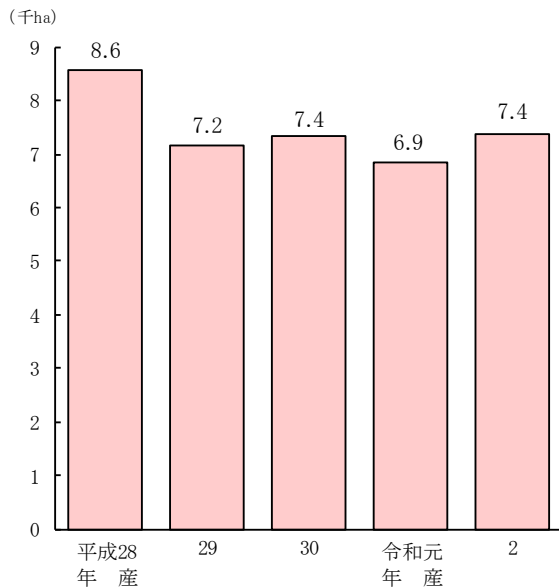
注：その他は全国から主産県を引いて算出した。（以下、図8まで同じ。）

3 いんげん

いんげんの作付面積は7,370haで、前年産に比べ510ha（7%）増加した。

主産地である北海道の作付面積は6,880ha（全国の約9割）で、他作物からの転換等により、前年産に比べ540ha（9%）増加した。

図5 いんげんの作付面積の推移（全国） 図6 いんげんの都道府県別作付面積及び割合（全国）



4 らっかせい

らっかせいの作付面積は6,220haで、前年産に比べ110ha（2%）減少した。

主産地である千葉県の作付面積は4,980ha（全国の約8割）で、主に高齢化による労力不足に伴う作付中止等により、前年産に比べ80ha（2%）減少した。

図7 らっかせいの作付面積の推移（全国）

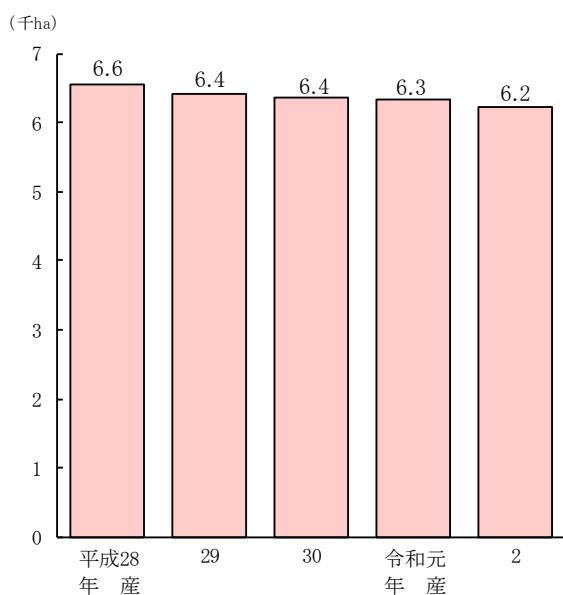
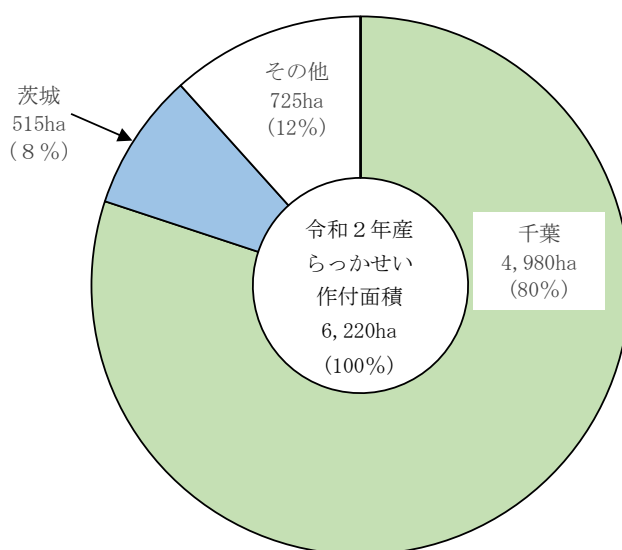


図8 らっかせいの都道府県別作付面積及び割合（全国）



【 統 計 表 】

統計表一覧

ページ

1	令和2年産大豆（乾燥子実）の作付面積	6
2	令和2年産小豆（乾燥子実）の作付面積	7
3	令和2年産いんげん（乾燥子実）の作付面積	7
4	令和2年産らっかせい（乾燥子実）作付面積	7

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
 - 「0」： 単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）又は増減のないもの
 - 「-」： 事実のないもの
 - 「x」： 個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
 - 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」： 負数又は減少したもの
 - 「nc」： 計算不能
- 3 秘匿措置について

統計調査結果について、生産者数が2以下の場合には、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。

なお、全体（計）からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。
- 4 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和2年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積」（農林水産省）による旨を記載してください。

【統計表】

1 令和2年産大豆（乾燥子実）の作付面積

全国農業地域 都道府県	計			田			畑		
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較	
		対差	対比		対差	対比		対差	対比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国 (1) (全国農業地域)	141,700	△ 1,800	99	114,200	△ 1,800	98	27,500	△ 100	100
北 海 道 (2)	38,900	△ 200	99	18,300	△ 100	99	20,600	△ 100	100
都 府 県 (3)	102,800	△ 1,600	98	95,900	△ 1,600	98	6,860	△ 10	100
東 北 (4)	34,900	△ 200	99	32,400	△ 300	99	2,470	80	103
北 陸 (5)	11,900	△ 500	96	11,300	△ 400	97	631	△ 25	96
関 東・東 山 (6)	9,570	△ 320	97	7,430	△ 290	96	2,140	△ 30	99
東 海 (7)	11,800	△ 100	99	11,400	0	100	441	△ 17	96
近 畿 (8)	9,140	△ 270	97	8,990	△ 270	97	148	△ 3	98
中 国 (9)	4,250	△ 80	98	3,900	△ 70	98	345	△ 15	96
四 国 (10)	493	4	101	469	8	102	24	△ 4	86
九 州 (11)	20,800	△ 200	99	20,100	△ 200	99	658	2	100
沖 縄 (12) (都道府県)	x	x	nc	-	-	nc	x	x	nc
北 海 道 (13)	38,900	△ 200	99	18,300	△ 100	99	20,600	△ 100	100
青 森 (14)	4,840	80	102	4,360	60	101	479	17	104
岩 手 (15)	4,320	30	101	3,780	30	101	539	△ 1	100
宮 城 (16)	10,800	△ 200	98	10,600	△ 100	99	285	12	104
秋 田 (17)	8,650	90	101	8,140	10	100	503	70	116
山 形 (18)	4,830	△ 120	98	4,730	△ 110	98	99	△ 7	93
福 島 (19)	1,390	△ 110	93	827	△ 103	89	566	△ 7	99
茨 城 (20)	3,350	△ 100	97	2,440	△ 130	95	907	27	103
栃 木 (21)	2,250	△ 90	96	2,080	△ 100	95	169	7	104
群 馬 (22)	275	△ 16	95	141	△ 15	90	134	△ 1	99
埼 玉 (23)	657	21	103	484	39	109	173	△ 18	91
千 葉 (24)	822	△ 49	94	611	△ 51	92	211	2	101
東 京 (25)	4	△ 2	67	-	-	nc	4	△ 2	67
神 奈 川 (26)	37	△ 3	93	9	△ 1	90	28	△ 2	93
新 潟 (27)	4,180	△ 230	95	3,980	△ 220	95	202	△ 12	94
富 山 (28)	4,270	△ 210	95	4,270	△ 210	95	6	△ 1	86
石 川 (29)	1,630	△ 30	98	1,250	△ 10	99	386	△ 12	97
福 井 (30)	1,800	△ 10	99	1,760	△ 20	99	37	0	100
山 梨 (31)	216	△ 7	97	144	△ 4	97	72	△ 3	96
長 野 (32)	1,960	△ 70	97	1,520	△ 30	98	441	△ 40	92
岐 阜 (33)	2,860	10	100	2,760	10	100	101	△ 2	98
静 岡 (34)	223	△ 28	89	163	△ 25	87	60	△ 3	95
愛 知 (35)	4,370	△ 120	97	4,150	△ 110	97	214	△ 15	93
三 重 (36)	4,350	60	101	4,280	60	101	66	3	105
滋 賀 (37)	6,510	△ 180	97	6,470	△ 180	97	42	1	102
京 都 (38)	302	△ 5	98	274	△ 4	99	28	△ 1	97
大 阪 (39)	15	0	100	15	0	100	0	0	nc
兵 庫 (40)	2,150	△ 70	97	2,100	△ 80	96	47	0	100
奈 良 (41)	137	△ 6	96	108	△ 3	97	29	△ 3	91
和 歌 山 (42)	28	0	100	26	0	100	2	0	100
鳥 取 (43)	624	△ 17	97	611	△ 17	97	13	0	100
島 根 (44)	780	24	103	679	28	104	101	△ 4	96
岡 山 (45)	1,540	△ 40	97	1,390	△ 20	99	155	△ 14	92
広 島 (46)	430	△ 47	90	381	△ 46	89	49	△ 1	98
山 口 (47)	870	△ 1	100	843	△ 5	99	27	4	117
徳 島 (48)	10	△ 7	59	8	△ 6	57	2	△ 1	67
香 川 (49)	60	0	100	59	0	100	1	0	100
愛 媛 (50)	348	10	103	334	13	104	14	△ 3	82
高 知 (51)	75	1	101	68	1	101	7	0	100
福 岡 (52)	8,220	△ 30	100	8,200	△ 40	100	19	2	112
佐 賀 (53)	7,750	△ 70	99	7,650	△ 80	99	102	10	111
長 崎 (54)	409	10	103	332	6	102	77	4	105
熊 本 (55)	2,420	△ 30	99	2,090	△ 10	100	334	△ 15	96
大 分 (56)	1,410	△ 130	92	1,350	△ 120	92	61	△ 1	98
宮 崎 (57)	223	4	102	215	7	103	8	△ 3	73
鹿 児 島 (58)	346	21	106	289	16	106	57	5	110
沖 縄 (59)	x	x	nc	-	-	nc	x	x	nc

2 令和2年産小豆（乾燥子実）の作付面積

全国・都道府県	計			田			畑			
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		
		対差	対比		対差	対比		対差	対比	
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%	
全 国	26,600	1,100	104	3,690	160	105	22,900	900	104	
う ち 北 海 道	22,100	1,200	106	1,620	130	109	20,500	1,100	106	
滋 賀	158	49	145	150	51	152	8	△	2	80
京 都	451	4	101	427	5	101	24	△	1	96
兵 庫	807	21	103	767	22	103	40	△	1	98

3 令和2年産いんげん（乾燥子実）の作付面積

全国・都道府県	計			田			畑		
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較	
		対差	対比		対差	対比		対差	対比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	7,370	510	107	321	16	105	7,050	490	107
う ち 北 海 道	6,880	540	109	266	16	106	6,610	520	109
う ち 金 時	4,780	190	104	…	nc	nc	…	nc	nc
手 亡	1,790	430	132	…	nc	nc	…	nc	nc

注：「金時」、「手亡」とはいんげんの種類を示す。

4 令和2年産らっかせい（乾燥子実）の作付面積

全国・都道府県	計			田			畑					
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較				
		対差	対比		対差	対比		対差	対比			
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国	6,220	△	110	98	125	△	1	99	6,090	△	120	98
う ち 茨 城	515	△	13	98	16	△	1	94	499	△	12	98
千 葉	4,980	△	80	98	36	△	2	95	4,950	△	70	99

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査及び特定作物統計調査の作付面積調査として実施したものであり、豆類の生産に関する実態を明らかにすることにより、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料、関税割当数量の算定のための資料等とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

ア 大豆

全国

イ 小豆、いんげん及びらっかせい

令和2年産については、主産県を対象に調査を行った。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を3年ごとに実施しており、その中間年に当たる本年にあつては、調査対象品目ごとに、直近の全国調査年（平成30年産）における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び畑作物共済事業を実施する都道府県（主産県）を調査の範囲としている。

(2) 調査対象者の選定

大豆、小豆、いんげん又はらっかせいを取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

(3) 調査対象者数

作物の種類	団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③=②/①
	団体	団体	%
大豆	629	619	98.4
小豆	124	123	99.2
いんげん	48	48	100.0
らっかせい	6	6	100.0

3 調査事項

大豆、小豆、いんげん及びらっかせいの田畑別作付面積

なお、北海道にあつては、いんげんの種類別作付面積

4 調査期日

令和2年9月1日現在

5 調査・集計方法

(1) 大豆

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。

集計は、関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り並びに職員による情報収集により補完している。

(2) 小豆、いんげん及びらっかせい

令和2年産は主産県調査年であることから、主産県の関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。

集計は、関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り並びに職員による情報収集により補完している。

全国の作付面積は、主産県の作付面積の合計値に、推計により算出した主産県以外の都道府県（以下「非主産県」という。）の作付面積の計を合計し算出した。

なお、非主産県の作付面積は、直近の全国調査年（平成30年産）における非主産県の作付面積の計と前々回の全国調査年（平成28年産）における非主産県の作付面積の計を用いて1年当たりの増減率を算出し、この増減率を直近の全国調査年における非主産県の作付面積の計に乗ずることにより推計した。

6 目標精度

大豆については、関係団体に対する全数調査結果、小豆、いんげん及びらっかせいについては、主産県における関係団体の全数調査結果を用いて全国値を算出していることから、目標精度は設定していない。

7 用語の解説

- (1) 作付面積とは、は種又は植付けをしてからおおむね1年以内に収穫され、複数年にわたる収穫ができない非永年性作物を作付けしている面積をいう。
- (2) 乾燥子実とは、食用を目的に未成熟（完熟期以前）で収穫されるもの（えだまめ、さやいんげん等）を除いたものをいう。

8 全国農業地域の表章区分

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

9 その他

- (1) この資料の数値は、概数値である。

確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和3年2月予定）するとともに、その後刊行する『令和2年耕地及び作付面積統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

- (2) 大豆の収穫量については、『令和2年産大豆（乾燥子実）の収穫量』として令和3年4月に、小豆、いんげん及びらっかせいの収穫量（概数）については、『令和2年産小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の収穫量』として令和3年2月に公表を予定している。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「いも・雑穀・豆」の「面積調査」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/index.html#y6> 】

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織別から探す>大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省>組織別から探す>政策統括官

https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/

お問合せ先

◎本統計結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3681

（直通）03-6744-2045

F A X： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037

F A X： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>